

生涯教育セミナーシラバス

科目名	医療統計概論	科目区分	時間	回数
担当講師	久保 博文	初級	60分	--

講義概要

医学医療の分野では、統計学的な処理が行われ、意思決定に役立つ情報を生み出している。診療情報管理士業務指針（2021）において、診療情報の収集、整理、集計、分析を行い、客観的な判断を下す資料の作成や、さまざまな課題を統計的に解析する能力を修得する必要性が述べられている。

統計的方法は、収集したデータを要約する「記述統計学」と、一部のサンプルデータから集団全体の特性を推し量る「推測統計学」に分けられますが、データを情報にするためにデータを要約する手段が記述統計であり、医療統計概論（初級）では、記述統計を学ぶ。

当生涯教育セミナー（1クール）において2017年と2018年に、講師は違うが医療統計概論を実施しており、その際に参加された方は内容の重複を考慮して参加頂きたい。

講義の目標

データを要約する手段として

- ・統計用語と統計量を理解し、適切な判断ができる基礎知識を習得する。
- ・統計資料作成に最低限必要な知識を習得する。

講義内容

1.尺度と変数

2.度数分布（データをまとめる）

3.データの特徴をみる（代表値：平均値、中央値、最頻値、散布度）

4.データの間関係をみる（散布図・相関係数）